

令和6年度伊勢志摩国立公園地 第2回域協議会 議事概要

日時：令和7年2月28日（金）10:00～12:30

場所：三重県営サンアリーナ レセプション室

結果

- 令和6年度の代表的な取組について報告した。
- 伊勢志摩国立公園ビジョンの賛同が得られた。
- 次年度（令和7年度）の予定について確認した。

主な意見

- （伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会の報告について）バリアフリースターセンターが設立されて約20年を超えるが、こんなに早くアクティビティの分野に携われるとは思っておらず、今回事業を一緒にできて嬉しく思う。バリアフリー観光が全国的に増えてきているため、伊勢志摩地域を旅先として選んでいただくためには、特徴的な観光や体験をつくり、さらにブランド化することで主流になる流れをつくりたい（バリアフリーが必須ではない一般の方のアクセスも増やす）。このような形で情報が広がり、必要な人に情報が届くことを期待している。
- （志摩市の発表について）横山展望台で整備された道には「トントンの道」「ジャリジャリの道」といった可愛いらしい名称がついており、親しみを持ってもらえるようなこの名称をぜひ残してほしいと感じた。
- （中部地方環境事務所の報告について）シャトルバスの運行は、一定の時間に出発するのか、それとも、ある程度定員が増えたら出発するのか。快適なシャトルバスの利用は待ち時間によって変わると考えるので、どちら側の運用にしてもお客様の利便性を考慮する必要がある。
- （中部地方環境事務所の報告について）横山展望台の第2駐車場を、有料で予約できればよいと思うが、可能か。
- （ビジョン検討・作成について）ワークショップで検討された内容と最終的にまとめられたビジョンは、伊勢志摩に住む人々の気持ちがよく表れた素晴らしい内容である。このビジョンが目標となるように継続的に活動していただきたい。
- ビジョンに到達するプロセスを明確にすることが重要であるが、今回のビジョン策定の動きがどのようなステップを経て、どのように地域の人々や、自然環境、人々が構築するものに対して反映されるか、その見通しをお伺いしたい。ビジョンをどのような形（実際の行動）に変換するかが、計画する上で重要である。ぜひ力を入れて素晴らしい国立公園づくりを実現していただきたい。
- 次年度策定予定のアクションプログラムについて、若い世代だけでなく上の世代も支えていく必要があり、何ができるのかもプランに組み込むべき。世代を分けて考える方が良いのではないか。

質問に対し、事務局からの追加説明・補足した点

- 他の観光地で、予約制度を取り入れているところがある。検討の余地はあると思う。
- 来年度、ビジョン実現に向けたプロセスなどを検討し、何をどのように実現するのかを行動計画としてステップアッププログラムに反映したいと考えている。自分達に何ができるのか、来年度以降に皆で考えていきたい。